

旭1年便り

第3号

2015年5月7日

学年・組目標

尾張旭市立旭中学校

この通信は1年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。編集:伊藤

学年目標・学級目標をたてました。

1D 「いつも笑おう1Dスマイル」

「やるときはやる、笑うときは思いっきり笑おう」というけじめと、1Dにしかない「1Dスマイル」で、1Dのみんなと担任の田中先生と一年間楽しく過ごしたいという思いから、この目標にしました。(K. N)

1E 「Endless Endeavor Enjoy Eクラス」

吉田先生は英語の先生なので、英語のクラス目標にし、E組だから、最初に「E」がつく単語を選びました。Endless(無限の)Endeavor(努力)で、34+1人が一緒になって、その向こうにあるEnjoy(楽しみ)をみんなで見つけたいと、「無限の努力・楽しむ」にしました。(F. A)

1F 「最高のFriend～愛してます～」

まだ友達が少ないので、友達をたくさんつくって、みんな仲良く一年間送れるようにと考えました。友達を愛し、またその友達も愛し、さずなを深め、チームワークのよい仲良しのクラスにしたいです。(I. Y・H. N)

1G 「Grape」

G組の頭文字であり、ぶどうはふさにたくさんの実がなっているし、実のそれぞれが仲間、それらが一ふさにまとまっているというクラスにしたいです。(I. A・K. K・T. A・T. T)

1H 「Happy～明るく元気な楽しいクラス」

「Happy」という言葉をつけた理由は二つあります。一つめは、H組なので「H」から始めようということです。二つめは、「Happy」なことがおきますように、「Happy」に生活できますようにという願いからです。また、H組は明るく元気で、すごく楽しいクラスです。それがいつでもできているようにしたいです。(S. S)

1I 「やる気・笑顔がたえないクラス」

やる気の意味は、行事や授業に積極的に取り組む。笑顔の意味は、楽しい学校生活を送りたいということです。やる気と笑顔がずっと続くクラスにしたいです。(H. T)

1年 「団結～共に歩もう～」

室長会では、「団結」をメイン目標にしました。仲良く元気にまとまって、良い学年にしたいという意見がたくさん出されました。それに加えて、「一步一步、前進していきたい」「前向きに頑張りたい」という意見もあったので、サブタイトルに「共に歩もう」を入れました。

今期は、学年でこの目標をしっかりと意識して、室長会を中心に、学年で様々な活動を盛り上げ、学年全体で成長していきたいと思えます。(顧問:森本・谷口)

1A 「えがお」

㊦一組が ㊧くねん一の ㊨もいやりいじめや差別をしないで、困っている人がいれば助けられるように、一人ひとり努力して、みんなが協力し合えるようなクラスにしたい。(K. T)

1B 「いちB BOOK」

㊩つも明るく ㊪からを合わせて ㊫ estをつくすクラス それぞれのページ(個性)が合わさった一冊のBook(本)のように、みんなで物語を経験していくという意味をこめてBookとつけました。(M. K)

1C 「明るくたのすい1C」

どんなクラスがいいか考えたとき、「楽しくクラス」・「おもしろいクラス」が思いつきました。「楽しいクラス」がいいなと思ったけど、「楽しい」より「たのすい」の方がいいかなと思って、「明るくたのすい1C」にしました。(M. S)

学年目標の「団結」。この一年間の学校生活において、「団結」したという実感をみなさんが味わうことができるように、1年スタッフ一同で、みなさんを支援したいと思います。

どのクラス目標も達成できたら、素晴らしいクラスになること間違いなしです。今後、クラスでいやなことであっても、この「初心忘るべからず」で進んでほしいと願っています。

下の「確認票」を配布しました。保護者の方に、データが間違っていないかの確認をお願いします。以下の個人情報報は公簿(学籍簿)作成と、三年生での進路関係(進学・就職で、必要なデータになります。よろしくお願ひします。

◆訂正がある場合
その箇所に赤で正しい情報を加筆してください。

◆5月15日(金)までに、確認票を返却願ひます。

◆氏名の上は、「出身小学校名」になっています。

◆「生徒会」欄は、生徒会役員、または、議員・選挙管理委員が記載されます。

◆前期は4月～10月、後期は11月～3月です。

◆訂正がある場合
その箇所に赤で正しい情報を加筆してください。



確認票

愛知県尾張旭市立旭小学校

		1年	2年	3年
		J01		
性別	生年月日			
男	平成14年4月2日生			
保護者名	旭 太郎 あさひ たろう		TEL	53-2910
住所	尾張旭市向町2丁目4番地2			
前期	生徒会	会長	委員会	放送
後期	生徒会		委員会	
		学級係	社会	
		部活	サッカー	
		野球		

【O&Aコーナー】

◆Q 机に向かい黙々と勉強をしています。けれど、一向に成績に反映されません。これはなぜですか？
(中一の親)

◆A 「机に向かい黙々と」なんて、家庭学習のあるべき姿ですね。この姿を共同部屋で見ているか、子ども部屋に入ったときに見たのか、どちらなのでしょう。

前者なら、同じ部屋にいる人の協力が大切になってきます。テレビをつけてワイワイしてたら、集中できません。30分間でもよいので、周囲の人も読書をしたり日記をつけたりする「個人タイム」になれば、集中力がついて効果がでてくると思います。後者の場合、「黙々」と取り組んでいても学習の方法がよくないか、または、見られただけの「黙々」かもしれません。ふだんから「勉強しなさい」と言われ続けると、「とりあえず格好だけつ

けておくか」となってしまいがちです。部屋に近づく物音を察知して「黙々」態勢を整えるのは、そんなに難しいことではありません。「勉強しなさい」とは言わずに、共同部屋で「一緒に(それぞれのことを)やろうか」と誘ってみてはどうでしょうか。

さて、学習の方法がよくないという場合ですが、その多くは楽な方法をとっているのではないかと思われれます。たとえば、教科書の本文にラインマーカーで線を引くとか、本文を黙読するとかいうような方法はすんなりでき学習した気分になれますが、学習したことがあまり定着しません。

学習は苦勞をともなった方がよいのです。まずは書くことです。漢字・英単語・重要単語などを何回書くかを自分で決めて書くこと、できた後に達成感が得られ、継続できます。

さらに大切なのは、教科書やノートを見て、もう一度書いてまとめるという作

業です。文章をそのまま写しては、まとめることになりません。表や図にしたり、カレンダーの裏やカードを使ったり、字や線を色分けしたり、部屋に掲示したりと、自分なりに工夫をして作品をつくるような感覚でまとめことをすすめてみませんか。楽しみながら苦勞でき、定着もよくなると思います。

次に、「黙々」ではなく声に出して読むことも大切です。ふだんの生活になじみの薄い古文・漢文や英文などは、何度も音読することで定着していきます。先の「個人タイム」の最後に「ミニ音読発表会を開催すると、目標ができます。

苦勞する学習とは、言い換えれば、目・耳・口・手・足を使って行う学習なのです。そして、その苦勞の度合いと定着度とは正比例の関係にあるのです。
(伊藤)

『おそい・はやい・つよい・よわい』
54号・ジャパンマシニスト社・所収